



全道優勝大会



速報

いよいよ、いよいよ、いよいよ試合開始！ 熱戦の連続

いよいよ、大会の幕がきて落とされました！ 初日の31日は、雨天及び強風の中、4球場で12試合の熱戦が繰り広げられました。

静内古川公園球場

【赤平市職労5・3網走総支部】

初回、網走総が先制すると、すぐに赤平市が逆転。その後、両チーム出塁し、好機をつくるものの、得点には至らず一進一退の試合展開となった。赤平市は7回に追加点を挙げ9回表にも2点を追加し、一気に点差を広げたが、9回裏、網走総は連続安打からチャンスをつくり、犠飛、安打で2点を返すものの赤平市が逃げ切った。

【知内町職3・2苫小牧市消防協】

立ち上がりは互いに堅い守りの中、3回表、知内町職が先制し、試合が動き始めた、その裏苫小牧消協は、すかさず同点に追いついた。その後、互いに得点を重ね、知内町職は1点リードで迎えた最終回、苫小牧消協の攻撃をチーム一丸となつて、昨年度全道優勝チームを下した。

【枝幸町職3・2名寄市職労】

名寄市職労の板垣投手は4回までノーヒット、打線も3、4回に1点ずつ加えた。しかし、5回裏連続安打で同点とされた。その後、両チームの投手の好投により、試合は延長戦八十回裏、枝幸町職は、守備の乱れをつき、サヨナラ勝ちをおさめた。



新冠町民グラウンド

【苫小牧市職労7・0登別市職労】

苫小牧市職労は初回、桑村選手のア打で1点先制。3回裏田中選手の中前安打、相手のバッテリエラーにより2点を献上、登別市職労はランナーを出すものの千木良投手の要所を締め



るピッチングでチャンスをもたないで、8回にキャプテン蔵重選手の2塁打で2点を加えコート勝ちをした。

【上川町職9・2当麻町職】

上川町職は、初回ワールドピッチ、犠飛で2点を先制すると足を使った攻撃で着実に得点を重ねた、当麻町職は、4回村椿選手の安打、今村選手の2塁打で反撃を見せたが、8回の裏に桑野選手のタイムリー安打で8回コート勝ち。

【網走市労連4・2小樽市消防防】

小樽消行は1回4番毛内選手の内野打で1点を先制したが、その裏網走市労連は、相手のバッテリエラーなどにより3点を奪った。3回には、追加点を奪いリードを広げた。網走市労連は、毎回ランナーを出すも、8回毛内選手の犠飛にとどまり、追加点を奪えなかった。

浦河町潮見ヶ丘球場

【帯広市労連4・0松前町職】

帯広市職労は、序盤、中盤、ダブルの効果的に得点を重ねた、7回の攻撃では、2死から相手のエラーに押し、三谷選手の2塁打石橋選手の3塁打で2点を挙げた。帯広市職労神尾投手は松前打線に2安打に抑え見事な完封勝利。松前町職は、4回にチャンスをつくるも、あと1本が出なかった。

【別海町職7・0留萌市職労】

別海町職が18盗塁など足を使った攻撃で着実に得点を重ね、コート勝ちをおさめた。7回の攻撃では、四球とエラーで出塁したランナーを田端選手の2塁打で2点を挙げた。投げては、小貫投手が2安打に抑えた。留萌市職労は少ないチャンスを生かせなかった。

【石狩市職労6・0恵庭市職労】

石狩市職労平田投手恵庭市職労岡村投手の投げ合いで中盤まで進んだ、5回裏石狩市職労は3つの四球とエラーにより一挙4点を挙げた。7回からは、獅子内がリリーフに入り、ヒット



1本も与えなかった。得点は開いたものの両チーム合わせて1安打でした。

三石緑ヶ丘公園球場

【北広島市職労3・0江別市職労】

序盤は、北広島市職労山田投手、江別市職労眞鍋投手変化球を低めに集め、緩急をきかせた



投手戦だったが、4回北広島近藤選手の本塁打で2点を先制。7回にも追加点を加え、最後

は、秋山投手が締め、完封リリーにより勝利をおさめた。

【南幌町職15・0今金町職】

1回表南幌町職は相手のミスにより先頭打者が出塁し、6番金井選手の本塁打などで4点を先制、その後も毎回得点し、5回には4番草沢のダマ押し本塁打で3点が入り、5回コートとなった。今金町職は南幌町職の前に無得点に終わった。雨が激しく降りしきる中で、最終そのの少ない野球を展開し、ミスの少ない南幌町職が大勝した。

【音更町職6・0滝川消防協】

音更町職は、小谷内投手の立ち上がりを攻め初回4本のヒットで3点を奪った。6回、7回に追加点を奪った。投げては、音更町職鎌田投手の前に打線が沈黙。9奪三振を奪う力投により、完封勝利を手にした。